

県産品愛用推進店・地産地消推進の店をご存じですか？

☎ 商工観光課 ☎ 内線 212、257

11月は「**県産品愛用運動推進月間**」、11月19日(土)から27日(日)は「**地産地消強調週間**」です。

長崎県では、長崎県産品をもっと使おう！良さを知ってもらおう！と、「県産品愛用推進店制度」、「地産地消推進の店」を設けています。松浦市内には、延べ24店舗の登録店があります。この機会に、各店舗で県産品を探してみたいはかがでしょうか？

事業者の皆さま、「県産品愛用推進店」「地産地消推進の店」に登録してみませんか？順次受け付け中ですよ！

◆松浦市内の県産品愛用推進店

《長崎県産の食品、飲料》

県産品愛用推進協力店

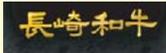
道の駅 鷹ら島
JA ながさき西海 鷹島店舗
酒の一斗 松浦店
直売所「松浦ふれあい広場」
松葉屋 松浦店
Aコープ みくりや店
Aコープ ふくしま店



《長崎和牛》

長崎和牛指定店

(有)肉の山頭フレッシュマーケット松浦店
JAながさき西海 Aコープふくしま店
Aコープ みくりや店



長崎和牛協力店

(期間限定・数量限定などの取扱店)

炭火焼肉・長崎ちゃんぽん「きらく」

《長崎のお茶》

県産茶指定店

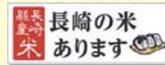
稗木場製茶
道の駅 松浦海のふるさと館
田中製茶園



《長崎のお米》

県産米指定店

Aコープ ふくしま店
Aコープ みくりや店



《長崎の魚》

長崎県の魚愛用店

松浦シティホテル
割烹旅館 鶴屋
旅館鷹島センター
食味酒処 あじ彩



《長崎のお酒》

県産酒指定店

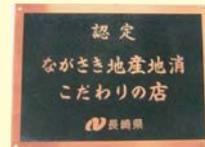
旬味 百伝(でん)
食味酒処 あじ彩



◆松浦市内の地産地消推進の店

地産地消こだわりの店

海の里食堂
海道



わたしたちの郷土

127 巻



▲いとにぎわい祭りの様子

いとにぎわい祭りでは、HMD(ヘッド・マウント・ディスプレイ)・双眼鏡型映像装置)を使った、元寇船の乗船体験、スマートフォンアプリ「AR蒙古襲来」のPRを行いました。その他にも、元寇遺物に触れることができるハンズオンコーナーや、実際の遺物の展示などを行い、鷹島海底遺跡を紹介しました。特に、HMDによる乗船体験では、VR(バーチャルリアリティ)空間に出現したCG(コンピュータグラフィックス)による元寇船の精巧さに、多くの人から「オオー！」という感嘆の声が上がっていました。

9月25日に福岡市西区で開催された「いとにぎわい祭り」で「バーチャル水中考古学ミュージアム」コーナーを開設しました。今回のイベントには、福岡市西区役所および今津地区のご厚意により参加させていただきました。

西区今津地区には、元寇防塁が残っており、当時、我が国防衛の最前線の場所であったとされています。元寇にゆかりがある「最前線の今津」と「終焉の地鷹島」が連携をとり、共同でのイベント参加に至りました。

中世の松浦(93) 鷹島海底遺跡

～出張！バーチャル水中考古学ミュージアム～



天神書簡 ～福岡事務所便り～



福岡と松浦をつなぐ！
新たなタッグに
乞うご期待！

松浦市「水中考古学」×福岡市「元寇防塁」。本誌22ページにも掲載があるとおり、松浦市が福岡市と「元寇タッグ」を組み、9月25日の「いとにぎわい祭り」で共同イベントを展開しました。これは両市の初コラボレーションであり、歴史観光の発展に大きな試金石となりました。

当日、屋外広場では福岡市西区「野の花学園」と共同で物産展にも出店(まつうら観光物産協会主宰)、両地域の特産品も販売。また、西区の高校生ボランティアの「松浦松之介」の松浦PRに加勢!といった場面もあり、会場は大いににぎわいました。

福岡市西区在住の松浦市出身者も来場、故郷のイベントに触れ、懐かしさもひとしおと喜ばれました。

このイベントがきっかけで同区関係者の松浦ツアーも今年中に実現の運びとなっております。そもそもこのコラボレーションのきっかけは、福岡市西区の今津地区に「元寇防塁」があることと、松浦市鷹島町では元寇の遺物や元寇船が発見されていることから、同じ元寇を媒介とした両市の歴史コンテンツでの縁組みを試みたもの。今後ますます発展が望めるこのタッグ、乞うご期待！



「元寇防塁見学会」11月20日は今津で過ごそう(今津地区)でも、福岡市と松浦市とのコラボレーションを予定しています。

お問い合わせ・ご意見など 松浦市福岡事務所 ☎092-406-2180 Eメール matsuura.f@city.matsuura.lg.jp



消費生活センターだより

問 松浦市消費生活センター ☎内線 180、直通 72-1861



東京オリンピックに便乗した詐欺的な電話に注意！

《相談事例》

オリンピック関連の団体を名乗る男性から「東京オリンピックの入場券を300万円申し込みましたね」と電話があった。「頼んでいない」と断ると、「同様の被害に遭った人が他にもいる。調査するつもりだがどうするか」と聞かれ、「お願いします」と答え、個人情報を伝えてしまった。その後も「銀行の犯罪グループリストに名前が載っている」「警察には相談しないように」などと何度も電話があり、弁護士という人物からは「口座を差し押さえられてしまうので手を打たないと大変だ。銀行名を教えなさい」と言われ、銀行名を伝えてしまった。(70歳代女性)

《ひとこと助言》

- ・2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」に関連し、オリンピック関連の団体名をかたる事業者からの詐欺的な電話に関する相談が寄せられています。今後も同様の勧誘が増える可能性があります。充分注意が必要です。
- ・話を聞いてしまうと、個人情報を聞き出されたり、金銭を要求されたりする場合があります。不審な電話はすぐに切り、絶対に応じないようにしましょう。

※おかしいなと思ったときは、消費生活センターにご相談ください。